

## 総合的な学習の時間における校種間連携と授業づくり

令和3年6月3日（木）  
大分県教育庁義務教育課  
@コンパルホール

### 本日の内容

#### 1) 総合的な学習の時間における校種間連携

#### 2) 総合的な学習の時間の授業づくり

- ① コロナ禍を踏まえ、確認しておきたい総合的な学習の時間の意義と今後の取組における重要な視点
- ② 総合的な学習の時間の充実に向けたチェックリスト

# 全国学力・学習状況調査の結果から

## 中学校

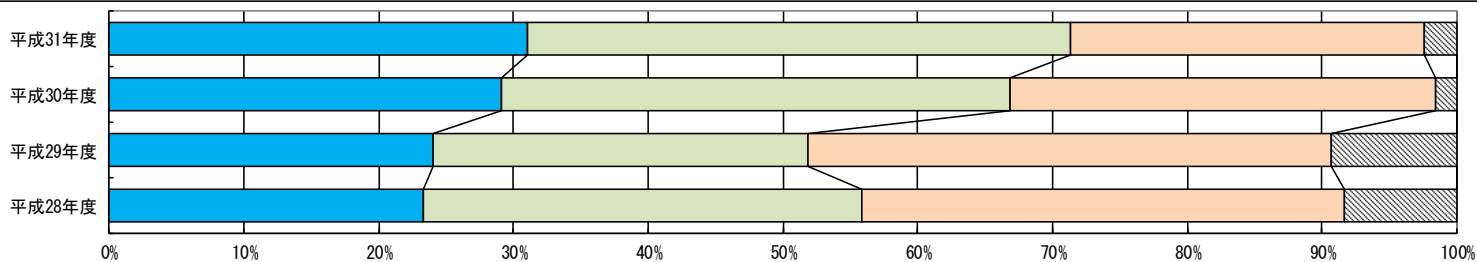
質問番号

質問事項

(65)

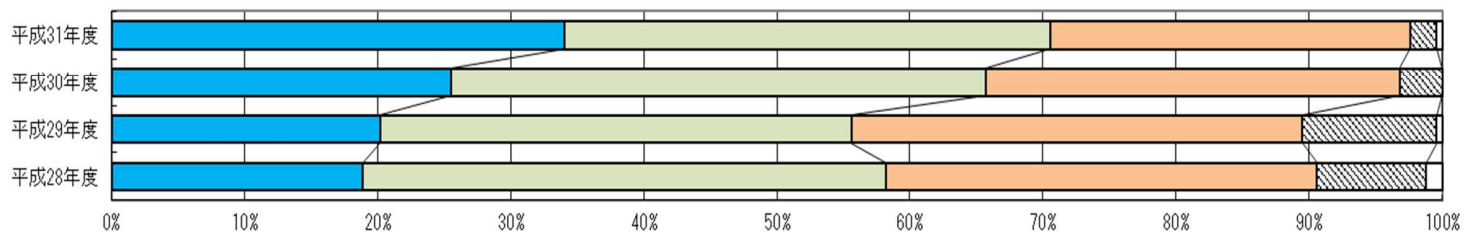
前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか

1.よく行った    2.どちらかといえば、行った    3.あまり行っていない    4.全く行っていない    その他、無回答



## 小学校

1.よく行った    2.どちらかといえば、行った    3.あまり行っていない    4.全く行っていない    その他、無回答



# 全国学力・学習状況調査の結果から

## 中学校

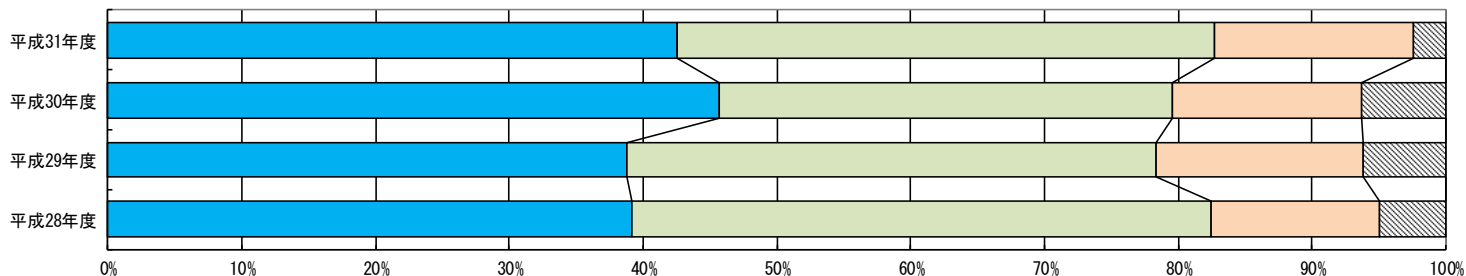
質問番号

質問事項

(66)

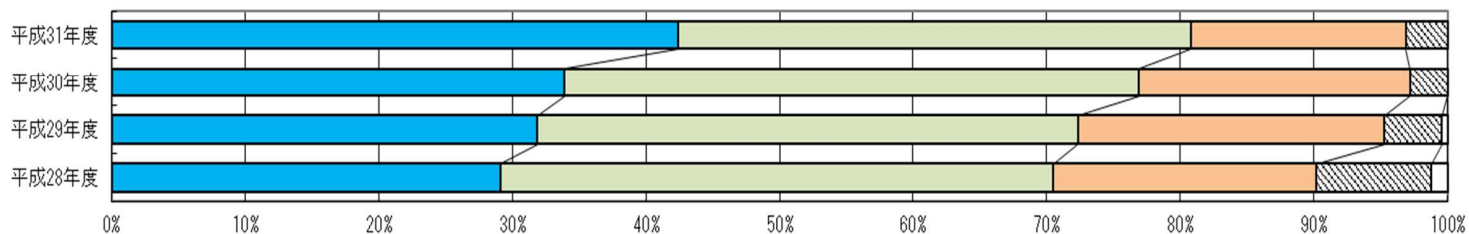
前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか

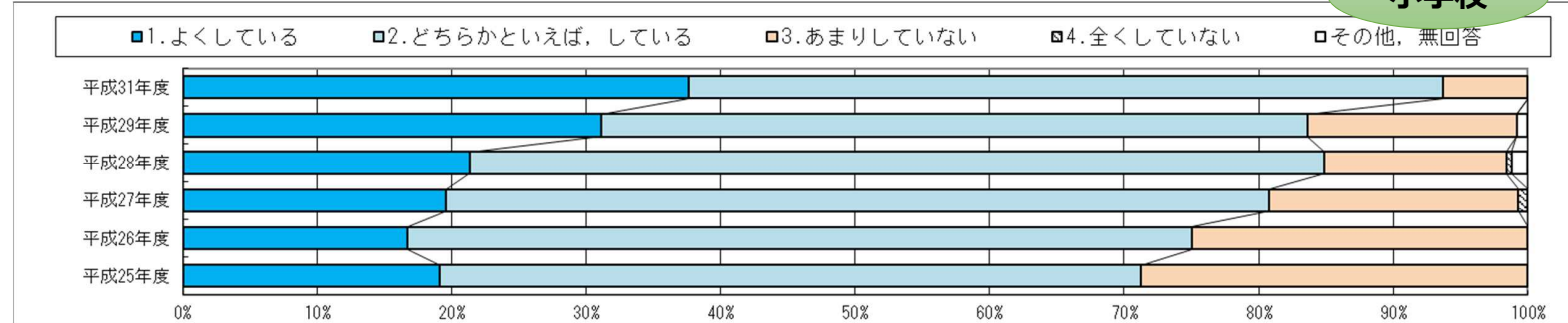
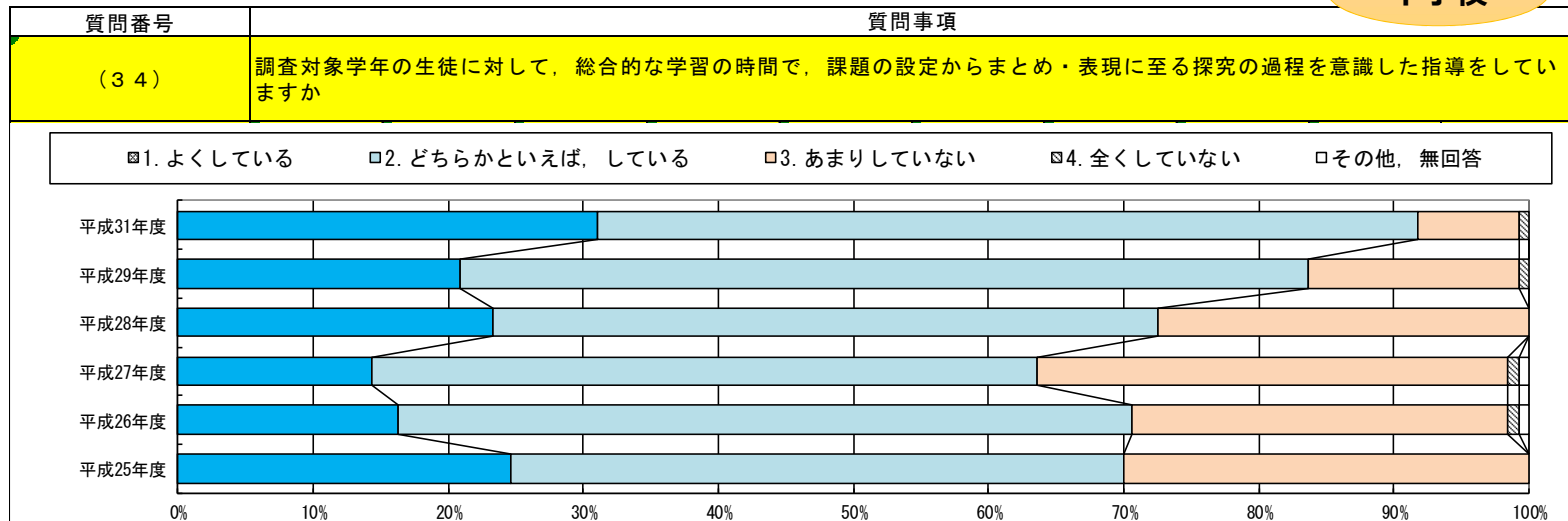
1.よく行った    2.どちらかといえば、行った    3.あまり行っていない    4.全く行っていない    その他、無回答



## 小学校

1.よく行った    2.どちらかといえば、行った    3.あまり行っていない    4.全く行っていない    その他、無回答





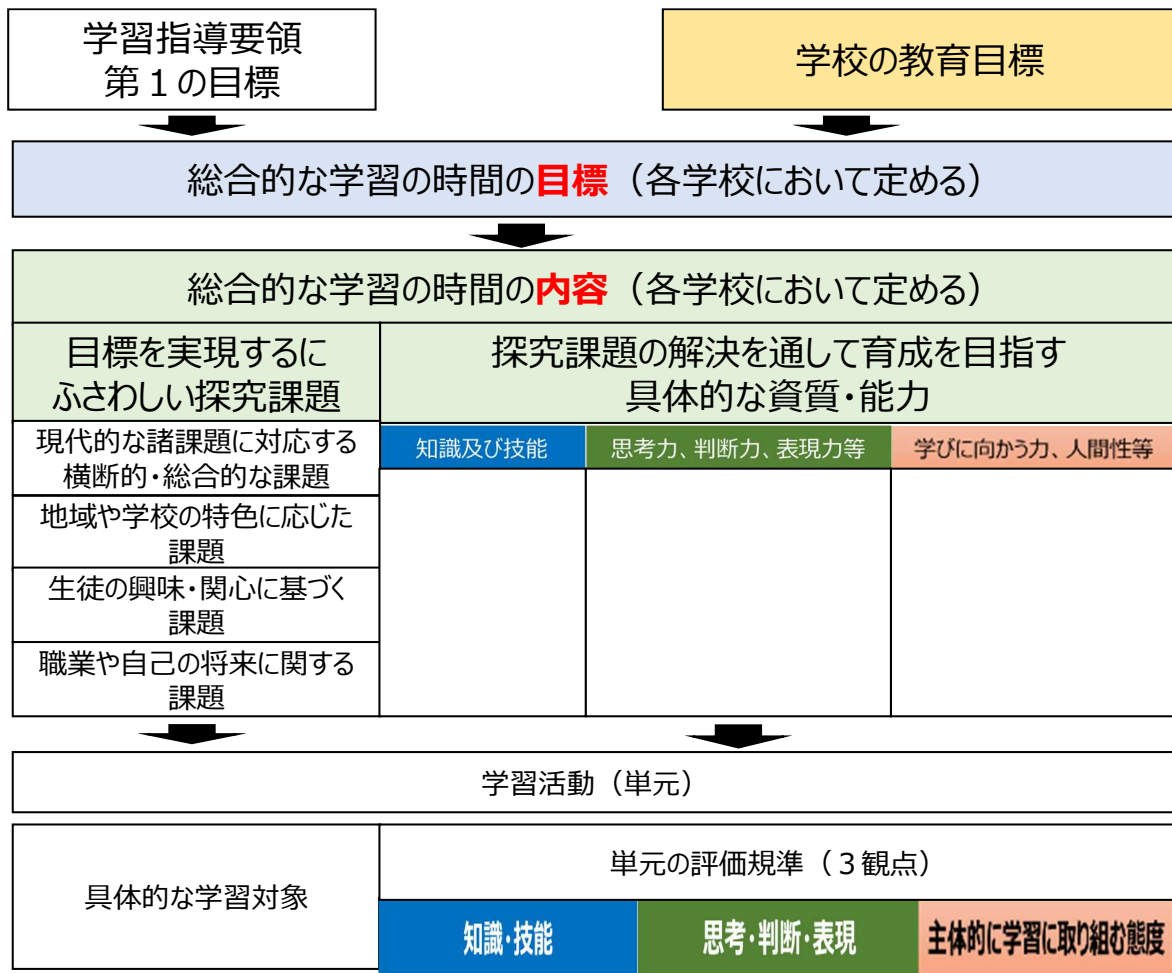
## 1) 総合的な学習の時間における校種間連携

### 総則

#### 1 各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努めるものとする。その際、第4章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図るものとする。

# 1) 総合的な学習の時間における校種間連携



※子どもの実態



※全体計画または年間指導計画に示す



# 1) 総合的な学習の時間における校種間連携・学校段階等間の接続

**総則**

(1) 小学校学習指導要領を踏まえ、小学校教育までの学習の成果が中学校教育に円滑に接続され、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を、生徒が確実に身に付けることができるよう工夫すること。特に、義務教育学校、小学校連携型中学校及び小学校併設型中学校においては、義務教育9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成すること。

1) 総合的な学習の時間における校種間連携・学校段階等間の接続

同一中学校区内の小学校と中学校の間の連携を深めるための工夫（例）

- ・ 学校運営協議会や地域学校協働本部等の各種会議の合同開催を通じて、各学校で育成を目指す資質・能力や教育目標，それらに基づく教育課程編成の基本方針などを，学校，保護者，地域間で共有して改善を図ること。
- ・ 校長・副校長・教頭の管理職の間で，各学校で育成を目指す資質・能力や教育目標，それらに基づく教育課程編成の基本方針などを共有し，改善を図ること。
- ・ 教職員の合同研修会を開催し，地域で育成を目指す資質・能力を検討しながら，各教科等や各学年の指導の在り方を考えるなど，指導の改善を図ること。
- ・ 同一中学校区内での保護者間の連携・交流を深め，取組の成果を共有していくこと。

連携を図る

## ① 連絡を密に取り合う

目的、内容、時期、回数 など

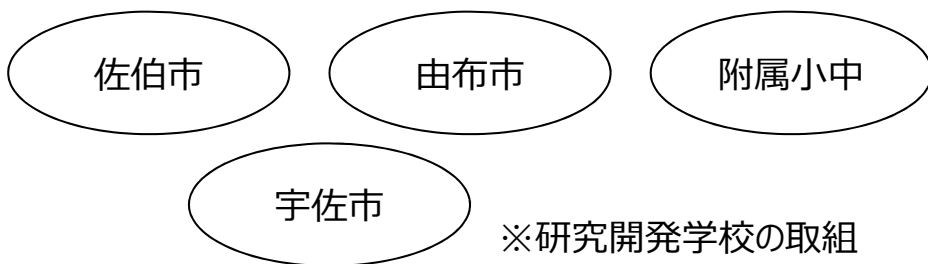
## ② 目的を共有する

- ・ 学びの様相の相互理解
- ・ 期待する児童の姿の共有 など

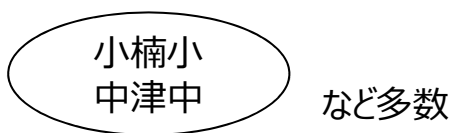
## ③ 一緒にする

- ・ 保育参観、授業参観、研修会 など

総合的な学習の時間において育成を目指す具体的な資質・能力  
系統表を作成し、市全体・校区内の学校において共有

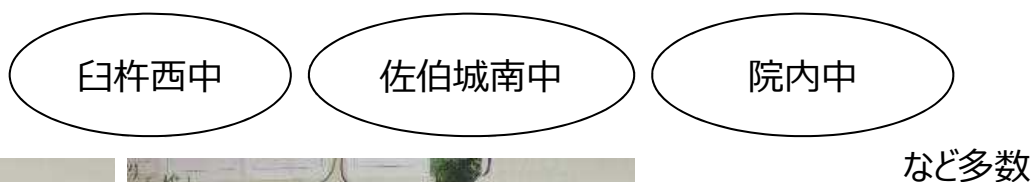


教職員の合同研修会を開催し、地域で育成を目指す資質・能力を  
検討しながら、各教科等や各学年の指導の在り方を考える  
場を設定



小学校の総合的な学習の時間の全体計画例や年間指導計画を  
集め、その内容（資質・能力と探究課題）を確認する。

中学校第1学年の総合的な学習の時間の導入時に、各小学校  
における総合的な学習の時間の取組を生徒同士で交流する。そ  
の内容をベースに単元を構想する。



## 1) 総合的な学習の時間における校種間連携

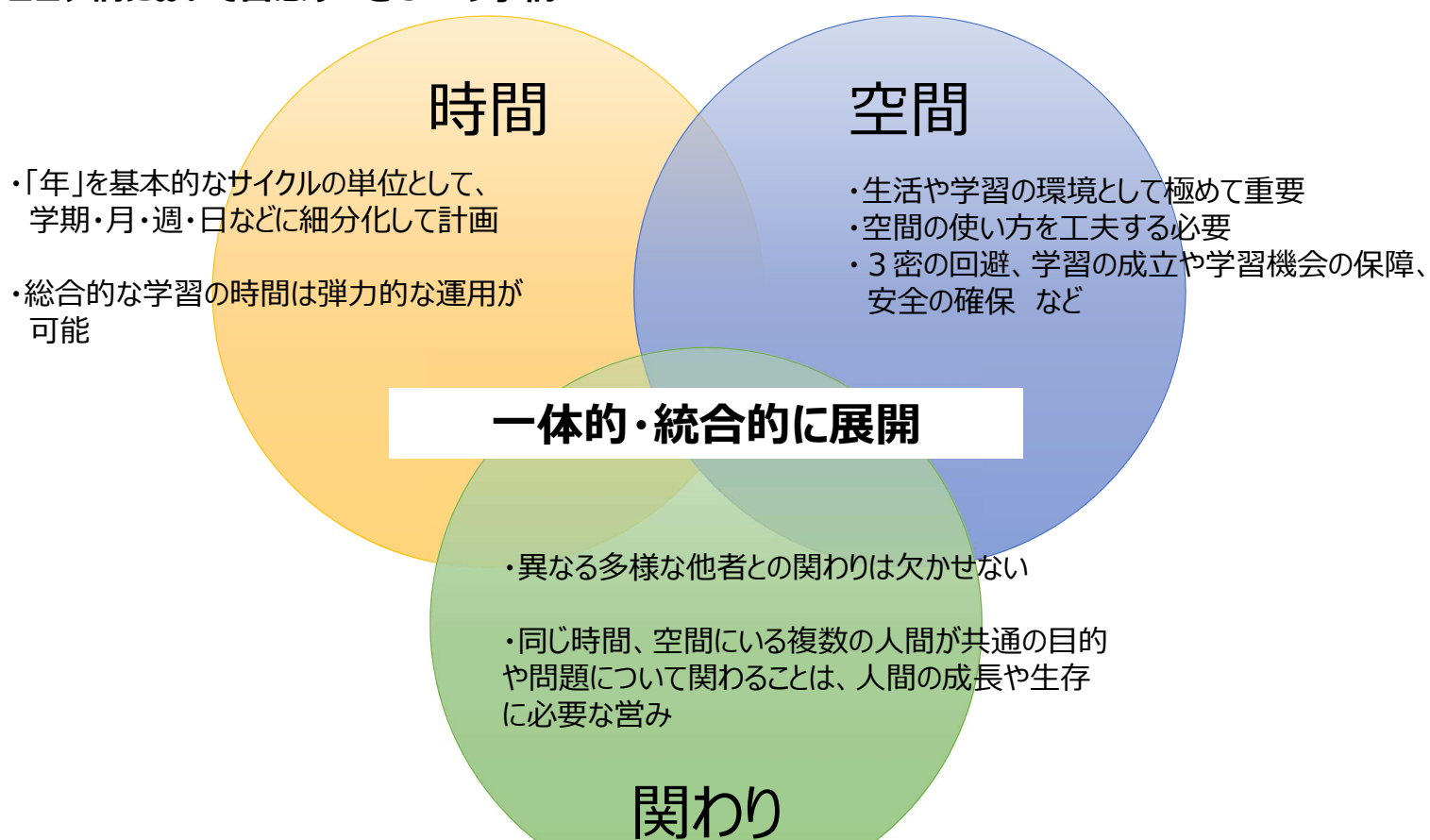
## 2) 総合的な学習の時間の授業づくり

① コロナ禍を踏まえ、確認しておきたい総合的な学習の時間の意義と今後の取組における重要な視点

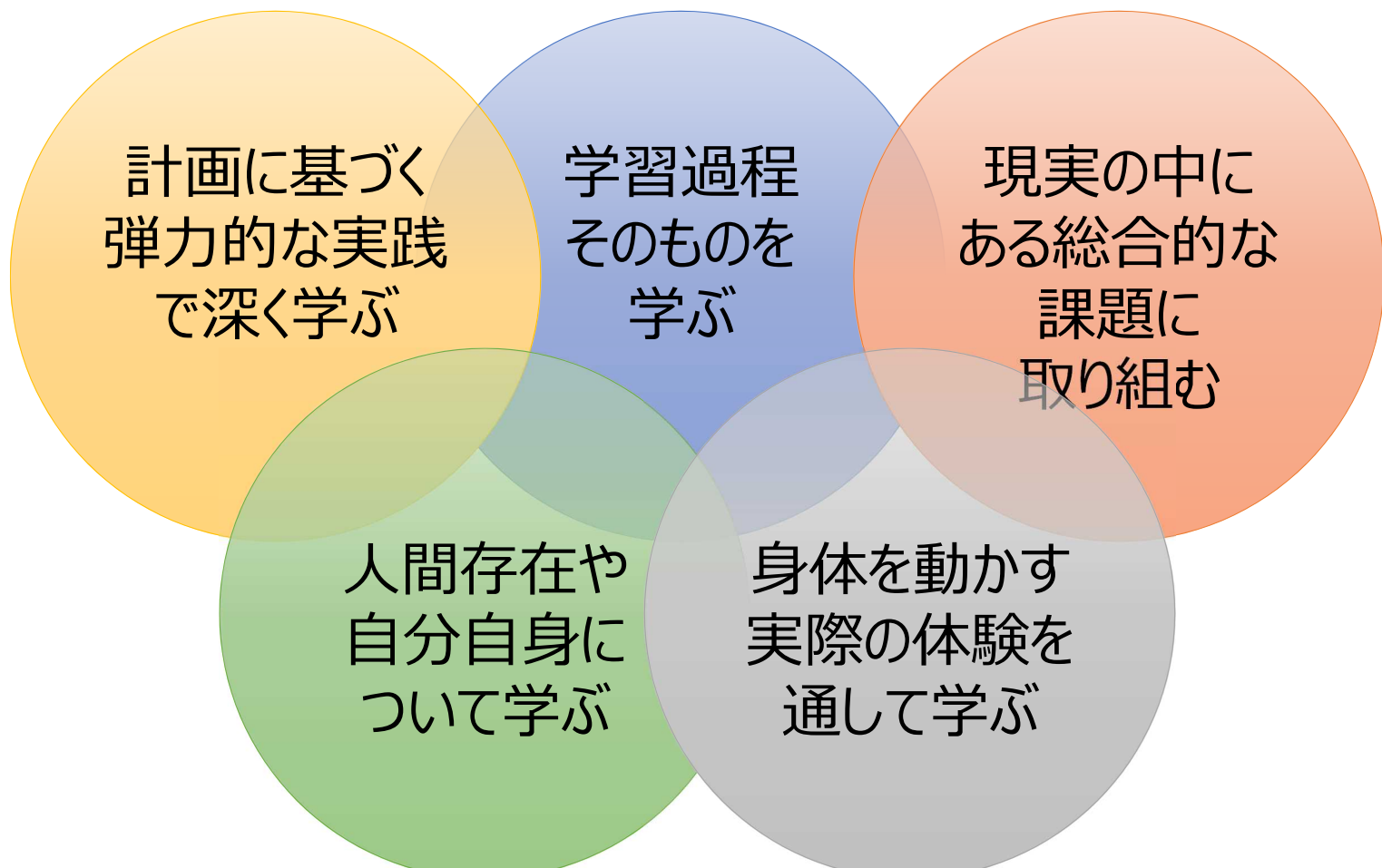
② 総合的な学習の時間の充実に向けたチェックリスト

## 2) 総合的な学習の時間の授業づくり ① コロナ禍を踏まえ、確認しておきたい総合的な学習の時間の意義と今後の取組における重要な視点

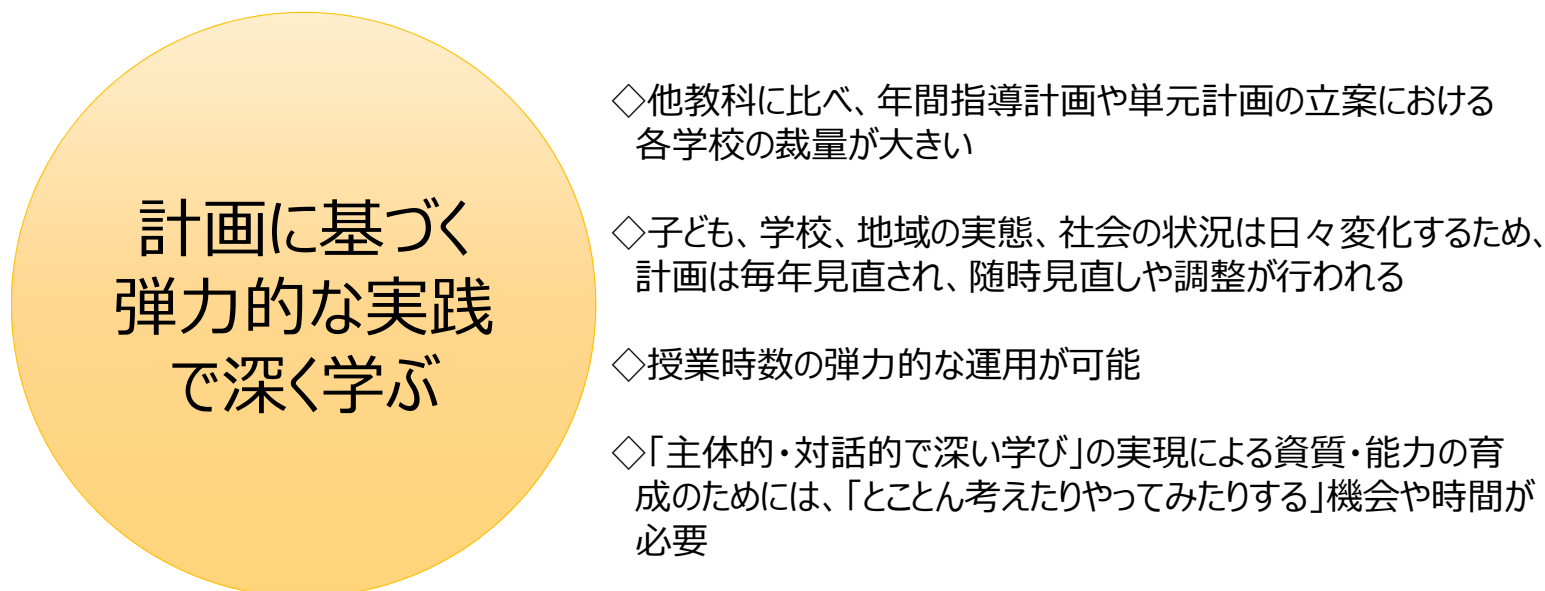
### コロナ禍において留意すべき3つの事柄







(参考) コロナ禍で考察する学校教育の課題と展望—生活科・総合的学習の存在意義— 安田女子大学 朝倉 淳 日本生活科・総合的学習教育学会せいかつか&そごう 第28号 2021



**授業時間を弾力的に取扱いやすい  
子どもたちがより主体的・対話的に深く学ぶ学習機会、  
学習場面となりやすいという意義**

(参考) コロナ禍で考察する学校教育の課題と展望—生活科・総合的学習の存在意義— 安田女子大学 朝倉 淳 日本生活科・総合的学習教育学会せいかつか&そごう 第28号 2021



学習過程  
そのものを  
学ぶ

- ◇探究的な学習の過程を重視
- ◇目的実現や課題解決に向けた過程を創造することができる  
資質・能力が高まる
- ◇自ら設定した目的や課題に取り組む方法や過程を学ぶことで、  
よりよい目的実現や課題解決が可能
- ◆一方的に与えられた課題にただ取り組むだけの営みであれば、  
子どもの主体性も自信も失われることに留意

**学習過程そのものを学ぶことにより、  
主体的に粘り強く学びを進めていく力を育てるという意義**

(参考) コロナ禍で考察する学校教育の課題と展望—生活科・総合的学習の存在意義— 安田女子大学 朝倉 淳 日本生活科・総合的学習教育学会せいかつか&そうごう 第28号 2021

現実の中に  
ある総合的な  
課題に  
取り組む

- ◇現実の中にある、未来の現実にあると考えられる課題  
(具体的な事象)
- ◇子どもにとっての目的や課題と社会的な意味や価値とを重ね、  
具体的な活動や体験、各教科等の学習との関連や往還を通  
して取り組み、目的実現や課題解決とともに、自らの資質・能  
力が高まる学習

**現実の中にある総合的で複雑な課題に取り組む場  
教育課程上の核として教科等間や学年間・学校段階等間をつなぎ、  
家庭や社会とも結び付くという意義**

(参考) コロナ禍で考察する学校教育の課題と展望—生活科・総合的学習の存在意義— 安田女子大学 朝倉 淳 日本生活科・総合的学習教育学会せいかつか&そうごう 第28号 2021

人間存在や  
自分自身に  
ついて学ぶ

- ◇人間に起因する諸課題の解決に取り組む学習
- ◇小学校低学年の生活科・・・キーとなる概念は「自立」  
内容（9）「自分の成長」があり、自分自身の生活や自分の成長についての学習が位置付いている
- ◇総合的な学習の時間・・・「自己の生き方を考える」

時間、空間、自分との関わり、「人間」や「自分」も対象としている  
→総合的な学習の時間の存在意義の一つ

(参考) コロナ禍で考察する学校教育の課題と展望—生活科・総合的学習の存在意義— 安田女子大学 朝倉 淳 日本生活科・総合的学習教育学会せいかつ&そごう 第28号 2021

身体を動かす  
実際の体験を  
通して学ぶ

- ◇活動や体験を重視する
- ◇自らの諸感覚を用いて直接関わるのが重要
- ◆ICTの進展や有効性が子どもたちの現実世界における体験と引き換えになっていないか、デジタル化された情報は現実世界から得られる情報と同じなのか、等の課題意識をもつ

身体を動かす実際の体験を通して学ぶことは、  
今後一層大きな存在意義となる可能性

(参考) コロナ禍で考察する学校教育の課題と展望—生活科・総合的学習の存在意義— 安田女子大学 朝倉 淳 日本生活科・総合的学習教育学会せいかつ&そごう 第28号 2021

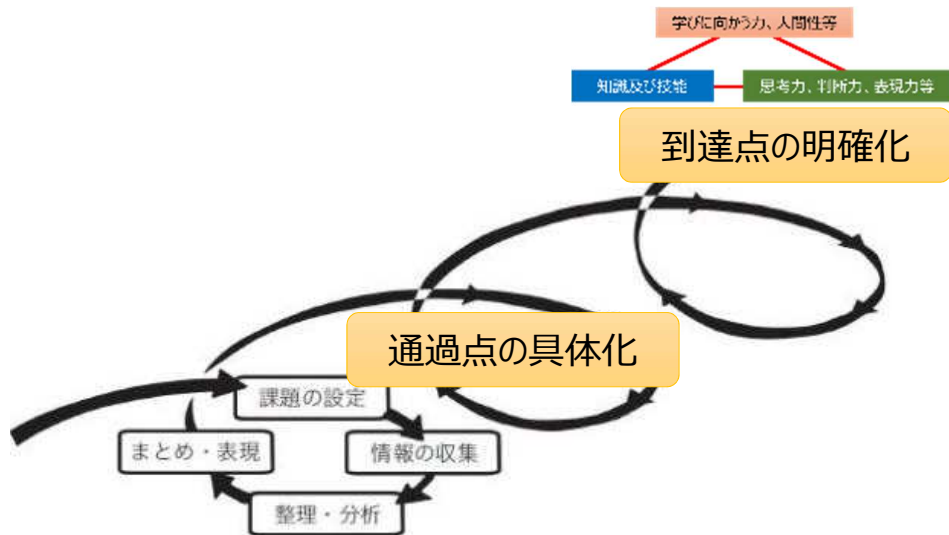
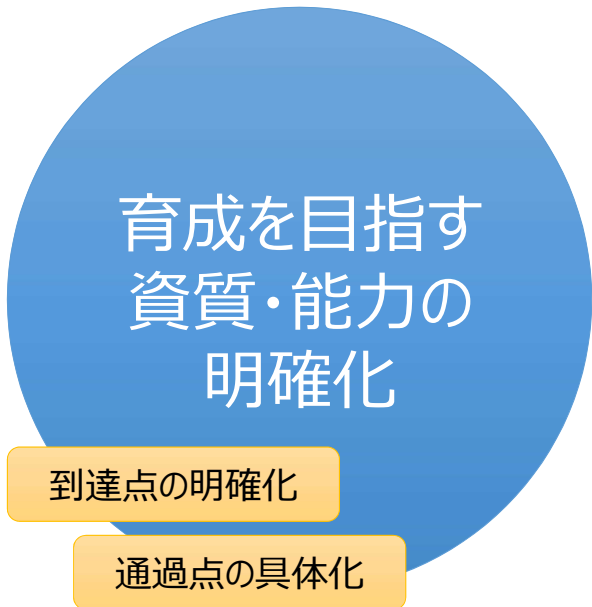


学びに向かう力、人間性等

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

- 課題の設定
- 情報の収集
- 整理・分析
- まとめ・表現



【手順】

- ①各学校の総合的な学習の時間の全体計画を確認（目標と内容）
  - ②生徒が関わる具体的な学習対象や学習活動を踏まえて①を具体化
- ★「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国研）参照



2) 総合的な学習の時間の授業づくり ①コロナ禍を踏まえ、確認しておきたい総合的な学習の時間の意義と今後の取組における重要な視点

**〔単元の目標〕**  
 様々な発電方法を調査したり電力消費量を減らすための活動に取り組んだりすることを通して、自分たちの暮らしは環境に負荷を与えたり、限りある資源の消費の上で成り立っていることを理解するとともに、電力消費量を抑えるための実現可能な方法を探し求め、未来の豊かな暮らしを守るために行動できるようにする。

**作成の手順（1）**  
 「内容のまとめり」をもとに、単元全体を見通して、単元の目標を作成する。

**〔単元の評価規準〕**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①エネルギーの問題について、資源には限りがあることや発電方法のバランスが重要であること、生活や暮らしとのつながりが大切であることを理解している。 ②地域への節電の呼びかけを相手や場面に応じた適切さで実施している。 ③エネルギー問題と自分の生活との関係について探究し続けてきたことよって、自らの行為が未来社会に深く関わっていることに気付いている。	①電気エネルギーを生み出すための発電について、何をどのように調べるか見通しをもって活動計画書を作成している。 ②多様な発電方法について、その仕組みや特徴に関する情報を、幅広く効率的に収集している。 ③自分でできる節電方法について、それぞれのメリット・デメリットを明らかにしたうえで、取り組むことの優先順位を決めている。 ④エネルギー問題の解決方法について、結論に対する根拠を明らかにして、自分の考えを主張している。	①エネルギーに関する問題について、調べたことの中から伝えたいことを明確にして、新聞を作成しようとしている。 ②太陽光発電が増えることの是非について、異なる意見のよさや他者の考えの価値を受け入れ参考にしようとしている。 ③アンケートの結果から、これからの社会を視野に入れ、節電の取組を地域に継続的に働きかけようとしている。

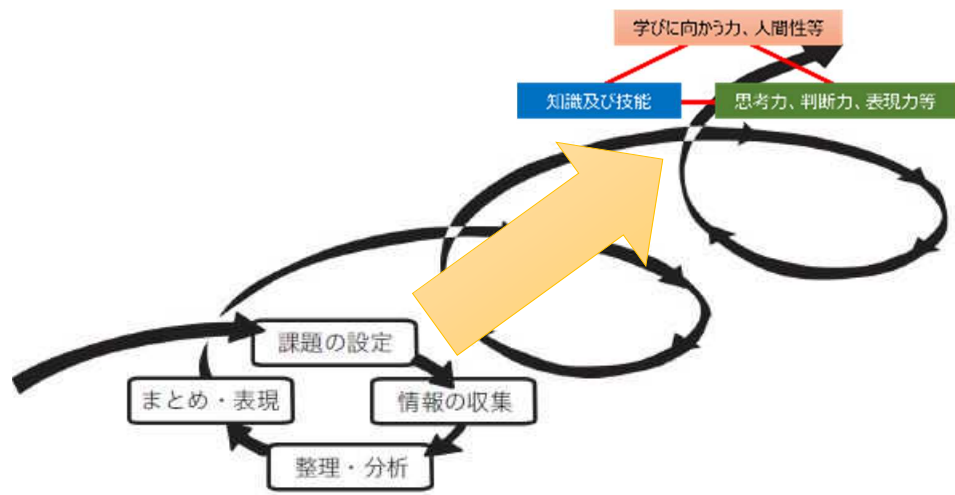
この例では、4つの要素を構造的に配列して作成  
 ①探究課題を踏まえた単元において中心となる学習対象や学習活動  
 ②単元において重視する「知識及び技能」  
 ③単元において重視する「思考力、判断力、表現力等」  
 ④単元において重視する「学びに向かう力、人間性等」

**作成の手順（2）**  
 「内容のまとめりごとの評価規準」をもとに、具体的な学習活動から目指すべき学習状況としての生徒の姿を想定し、単元の評価規準を作成する。

参考資料P48

2) 総合的な学習の時間の授業づくり ①コロナ禍を踏まえ、確認しておきたい総合的な学習の時間の意義と今後の取組における重要な視点

探究的な学習の過程の充実

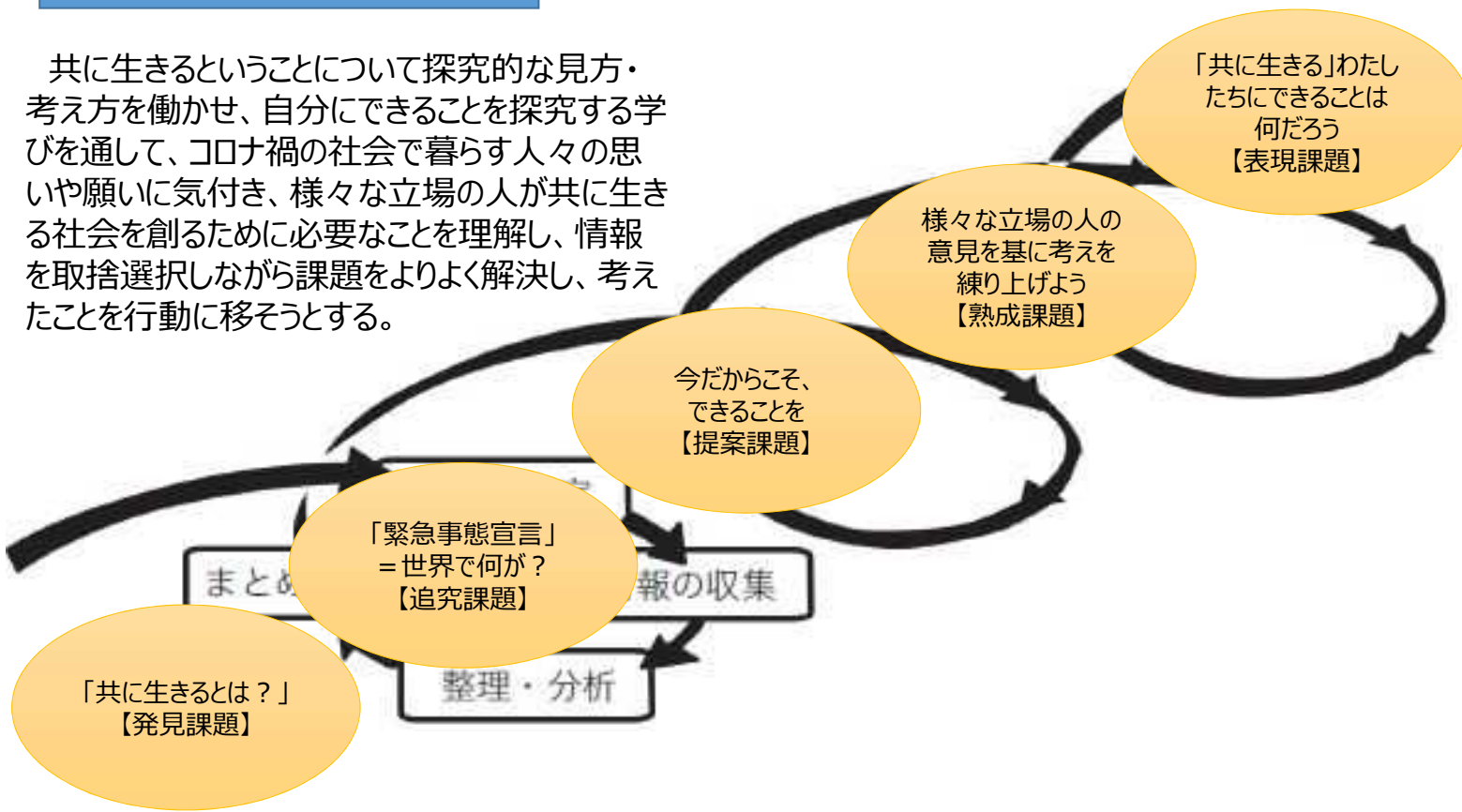


- 課題の設定** 体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- 情報の収集** 必要な情報を取り出したり収集したりする
- 整理・分析** 収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- まとめ・表現** 気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

探究の過程を質的に高める例

【単元名】共に生きる2020

共に生きるということについて探究的な見方・考え方を働かせ、自分にできることを探究する学びを通して、コロナ禍の社会で暮らす人々の思いや願いに気付き、様々な立場の人が共に生きる社会を創るために必要なことを理解し、情報を取捨選択しながら課題をよりよく解決し、考えたことを行動に移そうとする。



(参考) 総合的な学習の時間 新学習指導要領全面实施一年目を振り返る 初等教育資料4月号 (R3.4.15)

「共に生きる」ことを具体的に思い描く

広い視野で現状を捉え問題状況の深刻さを理解する

地域で問題になっていることを焦点化する

自分たちにしかできないことを自覚し発信していく

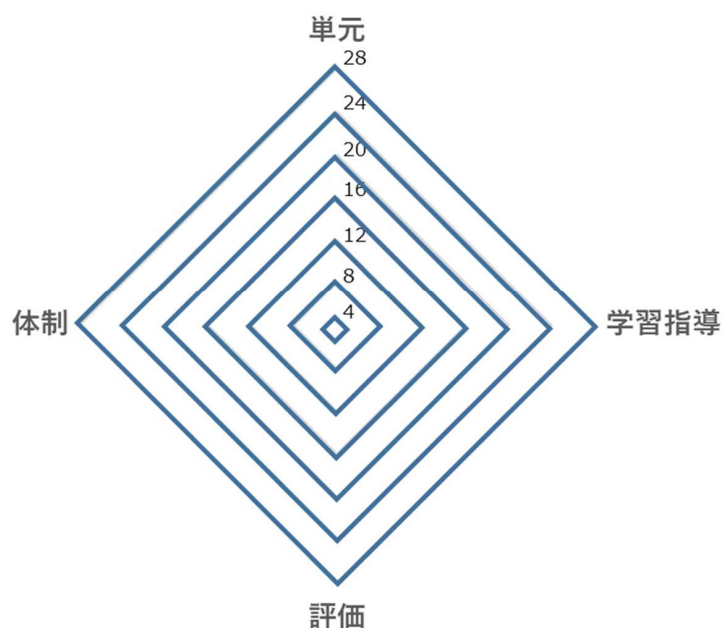
常に変化していく問題状況を適切に把握して  
学習対象と向き合う



## 2) 総合的な学習の時間の授業づくり ②総合的な学習の時間の充実にに向けたチェックリスト

項目	番号	内容	チェック
単元	①	育成を目指す資質・能力を明確にして単元を計画している。	
	②	課題の解決や探究的な学習の過程が発展的に繰り返されるように計画している。	
	③	前年度に教育課程の見直しを行い、単元計画を作成している。	
	④	生徒の興味関心や疑問を生かして単元を構想している。	
	⑤	学習展開における生徒の意識や活動の方向を予測して、単元を計画している。	
	⑥	教材研究を十分に行い、単元を構想している。	
	⑦	生徒の探究の様子等や資質・能力の状況を捉えながら、必要に応じて単元計画を見直し修正している。	
		小計	
学習指導	①	肯定的な生徒感に立ち、生徒の有能さ・発想を引き出す学習活動の展開を意識している。	
	②	生徒の学習状況を的確に捉え、見守ったり、適切に指導したりする等のバランスを意識している。	
	③	【課題の設定】複数の資料を提示し比較したり、フィールドワーク等の体験活動を行ったりする等、学習対象との関わり方や出会わせ方を工夫して課題を設定している。	
	④	【情報の収集】情報収集の目的や方法を明確にして、生徒が自覚的に情報を収集できるようにしている。	
	⑤	【整理・分析】「考えるための技法」を意識して、情報の整理や分析を行う方法を決め、生徒の思考力等が育成されるよう指導を工夫している。(思考ツールの活用など)	
	⑥	【まとめ・表現】相手意識や目的意識、伝える内容や方法を明確にして、まとめ・表現するようにしている。	
	⑦	多様な他者（生徒、保護者、地域の人々、専門家等）と協働した学習を展開している。	
		小計	
評価	①	期待する資質・能力が発揮される生徒の姿を想定して、評価規準を作成している。	
	②	評価方法や評価場面を明確に設定している。	
	③	指導する教師間で評価規準を確認し、生徒の学習状況を評価している。	
	④	生徒の成長を多面的に評価するため、多様な評価方法（発表やレポート、評価カード、ポートフォリオを活用した評価、他者評価等）を取り入れている。	
	⑤	評価規準や評価資料などを検討して評価の妥当性を高める等、評価に関する研修を行っている。	
	⑥	総合的な学習の時間の取組を、学校ウェブサイトや通信等で外部に発信している。	
	⑦	総合的な学習の時間の取組について、保護者や地域住民等へ説明している。	
		小計	
体制	①	全ての教職員が協力して取り組む体制ができている。	
	②	生徒の多様な学習に対応するため、空き教室・特別教室・ICTなどの物的環境、人的環境が整っている。	
	③	学校と家庭や地域と連携・協働しながら取り組む外部連携体制が構築されている。	
	④	小中学校間で総合的な学習の時間の目標や内容、児童生徒の学習状況、指導方法等を共有している。	
	⑤	総合的な学習の時間の実践を支え、円滑に運営するため、校務分掌組織を生かして教職員間の役割分担ができている。	
	⑥	学年部会等で総合的な学習の時間の展開や指導方法を定期的に確認している。	
	⑦	総合的な学習の時間に関する校内研修や授業研究会を実施している。	
		小計	

### 総合的な学習の時間の充実にに向けたチェックリスト



## 2) 総合的な学習の時間の授業づくり ②総合的な学習の時間の充実にに向けたチェックリスト

### ①セルフチェック（直感で！）

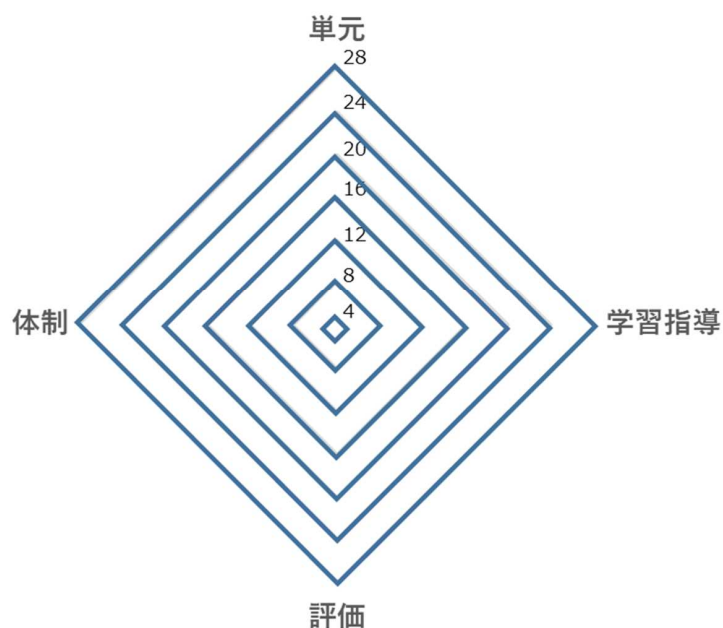
### ②レーダーチャートに結果を反映させ、自校の総合的な学習の時間における

- ・よい点
- ・課題 を明らかにする

### ③レーダーチャート等をもとに協議

- ・他校の取組に学ぶ
- ・すぐできそうなことに取り組むこと
- ・時間をかけてじっくり取り組むこと

### 総合的な学習の時間の充実にに向けたチェックリスト



## 2) 総合的な学習の時間の授業づくり ②総合的な学習の時間の充実に向けたチェックリスト (メモ)

①自校のよさ

②自校の課題

すぐに着手する (できる) こと

学校全体で

ひとりで  
学年で

時間をかけて改善すること

令和3年度 未来を創る授業力向上協議会 (総合的な学習の時間)

総合的な学習の時間における校種間連携と授業づくり

令和3年6月3日 (木)  
大分県教育庁義務教育課  
@コンパルホール